

平成29年 第4回

教育委員会定例会会議録

とき 平成29年4月25日

品川区教育委員会

平成29年第4回教育委員会定例会

日 時 平成29年4月25日(火) 開会：午後2時00分
閉会：午後2時27分

場 所 教育委員室

出席委員 教 育 長 中島 豊
教育長職務代理者 菅谷 正美
委 員 鈴木 敏夫
委 員 富尾 則子
委 員 海沼 マリ子

出席理事者 教 育 次 長 本城 善之
庶 務 課 長 品川 義輝
学校計画担当課長 篠田 英夫
学 務 課 長 有馬 勝
指 導 課 長 熊谷 恵子
教育総合支援センター長 大関 浩仁
品川図書館長 横山 莉美子
統括指導主事 山本 修史
統括指導主事 堀井 昭宏

事務局職員 庶 務 係 長 小林 則雄
書 記 前田 隼穂
書 記 高下 聖矢

傍 聴 人 数 1名

次第

報告事項 学事制度審議会第7回の報告について

その他 平成29年5月の行事予定について

【教育長】 ただいまから平成29年第4回教育委員会定例会を開会いたします。

署名委員に富尾委員、海沼委員を指名いたします。よろしくお願いたします。

本日は傍聴の方がおられますので、お知らせいたします。

それでは、本日の議題に入ります。日程第1、報告事項 学事制度審議会第7回の報告について、説明をお願いいたします。

学校計画担当課長。

【学校計画担当課長】 それでは、学事制度審議会、先日行われました第7回についてご報告をいたします。資料は、資料1の「学事制度審議会第7回の報告について」でございます。

まず、開催された日時でございますけれども、4月19日、先週の水曜日でございます。2番目の出席者は飛ばしまして、3番目の議題でございます。そちらに書かれてございます(1)から(5)のそれぞれの議題について議論されたところでございます。

まず、(1)今後の審議スケジュールでございますけれども、新年度が始まって第1回目の審議会ということでございましたので、今年度の年間のおおよそのスケジュールについて、事務局のほうで案をご用意いたしまして、お話をいたしました。

具体的には、今年度末が最終答申という形で進んでございますので、年間のおおむねのスケジュールという形で、大きな流れとしましては、おおむね7月ごろまでに、現在、検討を進めております各課題を一通り検討いたしまして、ご議論いただいた後に、9月ごろに中間答申を出すといった形での想定で、中間答申に向けた全体の整理を行っております。ちなみに、現在、課題といたしましては、今年度に入りまして、学校選択制と学校改築のあり方、この2つが残っておりますので、これを7月までの予定で議論を進めていく予定でございます。

9月にその中間答申が出されましたら、パブリックコメントにかけまして、広く区民の皆様をはじめとする皆様からのご意見を頂戴することを予定してございまして、そちらのほうが多まりましたら、最終的に年度末に最終答申、こちらに向けて、そうした意見を踏まえた形での整理を行っていく形で、事務局案としてお示しをしまして、審議会の中でもご了承いただいたところでございます。

続きまして、2番目、品川区立義務教育学校に関する学事制度等のあり方についてということで、これは3月の審議会からの引き続きの検討課題ということで審議をいただきました。今回もさまざまな角度からご意見をいただきまして、義務教育学校に関しましては、そのほかの学区域ですとか学校選択制、さまざまな課題と密接にかかわりがあるということで、なかなか簡単にまとまるような課題ではございませんでしたので、3月に引き続き、やはり意見がきちんとした形で固まるということにはなかったのですけれども、この中で、審議日程の関係もございまして、学事制度、義務教育学校に関しましては、この会議で一定の整理をするということにいたしました。

基本的には、義務教育学校と単独の小中学校、それぞれがその特色を発揮して、長所を

生かした形での教育を行っていくことが重要であると。それに当たっての具体的な方策については、その他、各制度との整合性を図りながら、中間答申に向けて、改めてまた整理をしていきたいと思いますという形で結論として、一旦、整理をつけたところでございます。

続きまして、(3)の品川区の教育政策に関するアンケート調査報告書についてということで、こちら、昨年の末に実施いたしました区民アンケートにつきまして、年明けに、一旦、単純集計をした集計結果について審議会の中でもご報告をさせていただいたんですけれども、その後、クロス集計という形で、年齢層ですとか、所在地ですとか、さまざまな角度からの分析が終わりましたので、その特徴的な部分についてご報告をいたしました。ただ、報告書自体が約60ページにわたるかなり量の大きなものでしたので、今回はそのポイントだけをご説明させていただいて、あとは報告書をそれぞれ各委員の皆様にお時間のあるときにお読みいただきながら、次回以降の審議に生かしていただくような形をお願いをしたところでです。

次に、(4)区政協力委員への調査の実施についてということで、現在、学事制度審議会におきましては、諮問された課題について議論を昨年の10月からずっと重ねてきているところでございますけれども、今後、中間答申ですとか最終答申に向けて、より実情を踏まえた細かな議論をどうしても進めていかなければいけないということ、また答申後に施策として具体化をしていくときに、その検討のためにも、より地域の現状を理解していくことが必要になってくるということで、このたび、地域の実情を一番ご存じである各町会長さん方に個別の意見調査を行うということを事務局のほうで想定いたしまして、審議会の了承をいただくという段取りを踏んだものでございます。

具体的には、3点ほど、学区域について、学校選択制について、その他で品川の学校教育についてということで、自由意見の形で各町会長さん方に意見をいただくような形で進めたいという考えでございます。

これは、今回、学事制度審議会の中で、学区域の見直しを含めた整理、検討を進めるということでございまして、学区域ですと、当然、地域の町会への影響が非常に大きいということもございますので、忌憚のない意見を聞きたい、伺いたいということ、それから、学校選択制については、地域との結びつきという点では、今後、学校選択制を改めて考えていく上でも地域の方のご意見は非常に重要になるということ、そのほか、日ごろから品川の学校教育に対していろいろご協力いただいているところから、何かご意見があれば聞かせていただきたいという形で、この3点に絞って、自由意見という形でお聞きすることといたしました。

各町会長さん方へは、それぞれの地区で行われる町会長会議等に私どものほうでお邪魔させていただきまして、そちらのほうで、現在、学事制度審議会の進行状況についてのご説明やご報告をさせていただいた上で、先ほど申し上げた3点の項目について、調査書をお渡しいたしまして、ご回答いただけるような形をお願いをするということを考えているところでございます。

ちなみに、4月19日にご了解をいただきましたので、早速、この日と翌日、2地区で町会長会議が予定されておりましたので、それぞれの町会長会議に出席をさせていただきます。また、明日も1つ、別の地区で町会長会議が予定されておりますのでそちらにお邪魔する予定でございまして、そういっ

た形で個別の各地域ごとをお願いしまして、こちらが大体6月ぐらいまで、それぞれの地域によって町会長会議の実施状況等がございますので、6月ぐらいまでかけて、それぞれお願いをしていくという形で、そちらのほう、個別にお願いしたものを集約した上で、7月以降の学事制度審議会の中でそういったご意見についてご報告しながら、議論に生かしていただきたいということで考えているところでございます。

また、こちらの方、それぞれ町会の会長さん方からいただいているものにつきましては、個別のお問い合わせ等もあると思われまので、それは、どちらかというと、今まで教育委員会としてそういった個別のこういうアンケートといいますか、ご意見を伺ってもなかなかお返す機会がなかったのですけれども、今回はそれぞれきちんとお返すような形、どういった形でお返しできるかはまだ検討しているところでございますけれども、町会の方々にもお返しをして、今後の協力関係につなげていきたいというように考えているところでございます。

続きまして、(5)の品川区の学校選択制についてということで、学校選択制につきましては非常に大きな課題であるということから、今回、4月の審議会の中では、まずは頭出しという形で、品川における現状についての説明ですとか、あるいは都内の各市区における選択制の実施状況等、選択制の概要についてご報告をさせていただきます、具体的な検討は次回以降という形で考えているところでございます。

大きな項目の4番で今後の開催予定でございますけれども、当面、とりあえず5月、6月まで予定日が入ってございまして、それ以降、基本的には、最終答申まで月1回程度の予定で学事制度審議会、開催していく予定でございます。

私からは以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。

今回、この議題のところの(1)から(5)までというのは、どれも非常に重要な課題でありまして、それぞれに委員の皆様からもご質問やご意見があるのではないかなというふうに思いますけれども、全部、討議していたら、切りがないとも考えます。それでもせっかくの機会になりますので、ご意見やご質問をいただければと思います。お願いいたします。

職務代理者。

【菅谷教育長職務代理者】 担当課長にお聞きしたいのですけれども、私、今の説明をお聞きして、審議会のやり方の中で、非常に丁寧にやられているなど感想を持ちました。町会関係の人、区政協力員の組織もそうですけれども、今までの審議会というのは、上で何かを決めて下におりてくる、そんな感じがどうしてもしてしまうのですね。ところが、協力員や町会長会議のほうへ出て行って説明してご意見をいただく、そういうことを繰り返していかないと、品川区の中で一番大きな行政課題の中は教育だと私は思っています。教育委員会の務めというのはそこにあるなと思っておりますが、やはり地元の意見を聞きながらやっていく、本筋でありますし、そのことをきちんとおやりになっているということは、区民として非常にありがたいなと思っております。

もう一つ、やはり何年前か、20年前かに比べても、区民の方の年齢構成が変わってきているのですね。そのことをやはり捉えながらいろいろな情報をお集めいただいて、分析するときにお考えいただきたいと思うのですが、区政に協力されている方は意外にお年の

方、今、人口的にどうでしょうか、25%、高齢者。その方たちのご意見はすごく貴重な意見だと思いますが、学校教育というのは逆に子どもに対してやっていますので、子どもから話を聞くわけにいかない、だけど、これからの社会のことを考えていくと若い人ですか、そういう人の意見も非常に大事だなというふうに感じます。特に子育てにかかわっていらっしゃる世代の方、30代、40代でしょうか。昔は若かったのですけれども、今、あまり若くない人たちがやっていますけれども、やはりちょっと世代のずれというのですか、あるなという感じがします。高齢者になった自分が言うのもおかしいですけれども、やはり若者の世代と物の考え方が変わってきているなど。

今、やっているこの審議会というのは先を見越した審議会でございますので、先のことを踏まえた形でのご審議をいただいて、ご示唆をいただくというのが一番ありがたいことだと思っていますので、どうかその辺のところについても、パブリックコメントをされるというところで、随分、いろいろなものが出てくると思いますが、パブリックコメントの中も、意外にお時間のある方がお答えになるという例も多い。そうすると、やはり時間とゆとりのある方という方になると、高齢者の方が多いですが、やはり若者の考え方、そういうものも大事にしていただければなと思っています。

どういうものが出てくるか、ものすごく期待をしておりますので、今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

【教育長】 事務局にとりましては大変心強いご意見をいただいたんじゃないかなと思いますが、何か担当課長のほうでコメントはございますか。

学校計画担当課長。

【学校計画担当課長】 まず最初に、丁寧に進めているということでお褒めをいただきまして、こそばゆい思いでございますけれども、1つは、今回、学区域の見直しというかなり大きなテーマがございます。品川の場合、学区域の見直しというのは、基本的に、特別な事情を除けばこれまでずっとやってこなかった部分でございますので、そうしますと、やはり学区域、特に小学校の学区域というのは町会さん、地域との結びつきが非常に強いといったこともございますので、これを簡単に変えられるものではないだろうという思いもございます。

ただ、それも、例えば就学人口が急増していったら、どうしても変えないと学校が受け入れられない、そういった事情がこれからはもしかしたら発生するかもしれない、そういったこと、さまざまな点を考えていきますと、やはり学区域の見直しというのは、なかなか避けては通れない部分があるかと考えています。その場合に、やはり地域に対する影響というのは非常に大きいものがございますので、こちらはやはりあらかじめ幅広く皆様のご意見を伺いながらでないとなかなか先に進めないだろうということです。

今回、このような形で、正直、全部の地域を回ってお願いしていくというのは、願ひすること自体はいいのですけれども、行きますとやはり日ごろから品川の学校教育に対していろいろな思いを持たれていらっしゃいますので、今回の学事制度に限らず、今回、行った先でも、行くとCSのことを聞かれたりですとか、さまざまいろいろな、教育委員会の事情もいろいろ聞かれますので、またいろいろな、率直に言うところご批判をいただくこともありますので、ちょっと厳しいことは厳しいのですけれども、ただ、そういった道はなかなか避けて通れないなと思っておりますので、今回、引き続き、各地域の皆様にご理解

いただきながら進めていきたいというふうに考えています。

また、各年齢層の関係で、若い方々のご意見ということで、パブリックコメントのお話もいただきまして、当然、そういう方たちにもできれば意見をいただければと思っていましたし、また、12月に行いました区民アンケート、こちらのほうも、実はお答えいただいているのは実際にお子さんをお持ちの年齢層の方のご意見が多かったものですから、そういった点も参考にしながら、また、今回、学事制度審議会の中だけではなくて、学務課ですとか指導課のほうでそれぞれ保護者の方ですとかのアンケートをとっていますので、そういったものも生かしながら進めていければというふうに考えているところでございます。

【教育長】　そういった複層的にさまざまなジャンル、年代層からとったデータを重要視しながら、全体のコンセンサスをしっかりと深めていきたいというところがベースにはあると思います。

委員の皆様、ほかにいかがでしょうか。

富尾委員。

【富尾委員】　質問というより感想なのですけれども、やはり今、通っている子どもたち、あるいはこれから通う子どもたちのために考えていかれるものだと思います。ただ、いろいろな方々から意見を聞いてまとめてというのはほんとうに大変な作業だと思うので、ぜひ細かい作業、大変だとは思いますが、頑張ってやっていただきたいなと思います。

【教育長】　富尾委員は保護者代表の教育委員でもいらっしゃるわけなのですけれども、今、品川でこういう形で学事制度を見直していこうという動きがある中で、保護者のニーズとしては、データとかも見ますと、やはり選択はいい制度だという形で答えていただいている方が結構多いのですが、その辺について委員はどのようなご感想を持たれますか。

富尾委員。

【富尾委員】　選べるということは、やはり自由度が広がるということでもいいと思うのです。ただ、やはり地域につながるということでもいい面もありますし、それを両方、それこそ選択しながら子どもたちの学校を選んでいくというふうにはなっていくと思いますけれども、ただ、勝手に選ぶというわけではなく、地域とのつながりを考えながら保護者も考えていくべきだと思いますし、そんなふうに広がりもありつつ、公平性でありつつというところがいいんじゃないかなというふうに思います。

【教育長】　ありがとうございました。

保護者の方は、当初よりも、大分、学校の教育活動ですとか特色を中心に選ぶようにはなってくれてはいるのですが、やはり地域とともにある学校づくりを進める教育委員会としては、そのエリアを、もう一回、そういった選択対象の中で改めて見ていただくということが、これからは重要になってくるのかもしれない。

こちらのお二人の委員の方々はいかがでしょうか。項目をピックアップしても構いません。

【鈴木委員】　選ぶということは、選ばれる訓練をしなくちゃいけないということ。

【教育長】　選ばれる側の。

【鈴木委員】　選ばれる側のほうがやはりすごい切磋琢磨しなくちゃいけないという意味では、非常にいいんじゃないかと。

【教育長】　　そうですね。

【鈴木委員】　　ただ、人数が少ないところ、多いところになって、ほんとうに少な過ぎるところの対策をどうするかというのは、また別個に考えなくちゃいけないかなと思いますけれども。

【教育長】　　プラン21の最初の狙いは、今、まさに鈴木委員の言われた切磋琢磨する学校の体制づくりということで、開かれた学校と特色ある教育活動をどのように進めていけるかというのが一番でした。今、お聞きすると、世の中的にも、学校は以前に比べるとそういった面では大分開かれてきているという話は伺いますが、この辺は、どう持続させていき次につなげるかというのが難しいところなのかもしれません。

【海沼委員】　　私は区政協のほうにも入っているのですけれども、前からやはり学区制度を見直してほしいというのはずっと言っていましたので、やはり今回はよかったなと思って、富尾委員がおっしゃったように、いろいろな面でやはり子どもたちも親たちも選択できるということも非常にいいことなのですから、地域としますと、やはり地域の子どもたちを把握するには、学区をもとに戻すというわけでもないのですけれども、ある程度、そういうふうになったほうが自分の町会の子どもたちというのがわかるので、そこを考えていただきたいというのがずっとあったものですから、よかったなと思っています。

【教育長】　　昨日、区政協の全体会があって、その場でもこの学校選択に関する意見が一つ出ている状況はあるのです。ですから、やはり地域の方は、今、学事制度審議会が動いているということに関しては、注目をされているところだと。私なども、こういった状況を見ている中で、やはり現代の中で幾つかの選択肢が用意されるということは、必要なことなのだろうと思います。ただ、やはり特に小学校ベースで子どもたちの安全ですとか、また遊びの範囲とか、そういうことを考えると、地域とともにある学校の姿というのは、この学事制度審議会の中でやはりある程度、求めていかないといけないのかなというような思いがしております。

今日は丁寧に担当課長のほうでも説明していただきました。そのほか、義務教育学校のことですとか、スケジュールのことなどもありましたけれどもどうでしょう。ほかに何かご意見等がございましたら。

また、本日は報告案件、この1件だけでございますので、このままでいくと30分で終わってしまうというような状況もありまして、それは悪いことではないのですけれども、何か今の段階でこれを聞ければなということがあれば、ご質問もいただきたいと思います。

私から1つ、担当課長、各町会長会議への説明会というのは、連合町会単位でやるのですか、13地区ということですか。

学校計画担当課長。

【学校計画担当課長】　　13地区、各地区ごとに行って、ご説明をしてお願いをしているところでございます。

【教育長】　　続けてなんですけれども、それは担当課長1人で説明に行っているんですか。

【学校計画担当課長】　　基本的には、私と担当の係長がおりますので、2人で行っております。ただ、ほかのことも聞かれるので、各課長も同行してもらおうかなという思いも

あったのですけれども、行ってしまうとそちらのほうの話題が多くなってしまうと、町会長会議の議題はそれだけではございませんので、あまりお時間をおとりするようなことになってもいけないので、一応、私のほうで答えられる範囲で説明して帰ってきているようなところでございます。

【教育長】 わかりました。それはなかなか全体のバランスを考えたいいいアイデアかなというふうに思いますけれども。

どうでしょう。そのほかにご意見がないようであれば、学事制度審議会第7回の報告については、了承ということでよろしいでしょうか。

では、よろしく申し上げます。

次に、日程第2、その他 平成29年5月の行事予定について事務局の説明をお願いいたします。

庶務課長。

【庶務課長】 それでは、私のほうから平成29年5月の行事予定について、ご説明いたします。資料の2のほうをごらんください。

5月9日でございますが、15時から教育委員会定例会のほうを行わせていただきます。

5月12日金曜日、18時30分から中学校PTA連合会感謝状授与式がございますので、教育長、お願いいたします。

5月23日火曜日、14時から教育委員会定例会のほうが予定されておりますが、こちら、特別区教育長会が日程として重複をしておりますので、5月16日の14時からと日程を変更させていただきたいと考えております。

私からは以上でございます。

【教育長】 説明が終わりました。何かご質問等はございますでしょうか。

すみません、23日から16日への変更を、私のほうの都合で申しわけございません。よろしくをお願いいたします。

特にご意見等ないようであれば、平成29年5月の行事予定につきましては、ご提案のとおりということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

【教育長】 それでは、本件も了承いたします。

そのほかになにかございますでしょうか。

【庶務課長】 特にございません。

【教育長】 ないようですので、本日の議事日程は全て終了いたしました。

閉会といたします。

— 了 —